



里山仲間が集う
さとぼろ。会館がオープン



安曇野環境フェアで
松枯れ材の積み木を展示



薪づくり講習会で
里山資源を活用

INFORMATION

木材や里山資源を暮らしにつなぐ 第10回 あづみの里山市開催



- 日 時** 11月8日(土) 第1部 10:00~/第2部 11:00~/第3部 12:00~14:00
- 場 所** 林友ハウス工業株式会社(穂高8421)
- 定 員** 第1部・2部:各30組(先着順)・第3部:なし
- 申し込み** 10月27日(月) 10:00から31日(金) 12:00に申し込みフォームから。
詳細は市HP(右記2次元コード)をご覧ください。

里山木材活用
プロジェクト

詳細はこちら



安曇野の里山と共に

私たちの暮らしは

次のステージへ

昨 年5月、内閣府からSDGs未
来都市に選定された安曇野市。
さらに未来都市の取組計画のうち「さ
とぼろ。」の活動を中心とした「里山
からつながる安曇野共生プロジェク
ト」が先進的な取り組みとして自治体
SDGsモデル事業に選ばれました。こ
の10年間多くの人が関わり、広がりを見
せてきた「さとぼろ。」の活動は次
のステージに向かってスタートを切り
ました。

モデル事業の主な取り組みとして、
里山活動の推進と支援を担う「さとぼ
ろ。」の活動が作り続けていきます。
まずは自分なりの里山時間を見つけて
楽しむことから始めてみませんか。



あづみの森であそび隊 代表
鈴木翔子さん(39・豊科)

INTERVIEW

感じて、遊んで、森とつながる

「さとぼろ。学校」を中心とした活動が、ベテランのメンバー多かったため、子どもや若い世代とのつながりが課題でした。そこで、昨年子どもと大人がフラットな関係で森や自然の中で遊びながらその豊かさ、そして自然の大切さを伝えることを目指してあそび隊の活動がスタートしました。現在は子どもを含む15人のスタッフで、2カ月に1回のペースでイベントなどを開催しています。

特に大切にしているのが「あづみの冒険プレーパーク」です。家庭や公園ではなかなかできない、火を使った遊びやナイフを使った遊びなど、少し冒険的な体験ができます。子どもたちには、遊び方をすぐには教えず、自分で気づくのを待ちます。これは「自然が相手だとなる」といった気づきを大事にしているからです。

里山や自然を体で感じ、その大切さを実感すること。今後もこの思いを大切に、スタッフも参加者と一緒に楽しみながら、森との関わりを深めていきたいです。

INFORMATION

あづみの冒険プレーパーク 参加者募集

竹パンづくりや火を使った遊びなど公園ではできない遊びを体験します。

☐11月23日(日) 10:00~14:00

場室山(詳細は参加者に連絡します)

☐5組20人(先着順)

費大人 1000円 子ども(3歳以上) 500円

☐専用フォームで

(下記2次元コード)

☐あづみの森であそび隊
playingforest.azumino
@gmail.com



里山の魅力発見
プロジェクト

自然を肌で感じる 非日常の冒険から学ぶ

ムササビナイトウォッチング

8

月9日の夕暮れ時、有明山神社
周辺でムササビを観察するイベ
ントが開かれ、親子50人が参加しまし
た。(里山の魅力発見プロジェクト・
あづみの森であそび隊主催)

当日はまず、ムササビとモモンガの
特徴や習性の説明を聞いた後、神社の
木についたムササビの登った痕跡とフ
ンを探すことからスタート。子どもた
ちはあつという間に多くのフンを見つ

け、痕跡を肌で感じました。

そして、ムササビが生息している木
がある、とっておきのポイントに移動
し、静かにムササビが住んでいそうな
場所を観察。ムササビが飛ぶことが多
いとされる日没直後、木の上の方にあ
る枝に光る目を発見。参加者の期待が
高まった瞬間、大きな座布団のような
ムササビが夜空を滑空。一瞬の出来事
に、大きな歓声が上がりました。

